

## 2019年度「研究者の横顔」レポート

氏名： 増田万里

### 1. 研究者になるうとしたきっかけ

液体にふんわりと浮かぶ白い糸のようなDNAを初めて見たとき、生命の神秘にすっかり魅了され研究の道に進みました。また、大学院時代に米国立がん研究所で行った研究がきっかけとなり、がん研究がライフワークとなりました。

### 2. 助成研究の内容紹介

私たちが開発したTNIKキナーゼ阻害剤NCB-0846は、骨肉腫細胞を脂肪細胞に分化転換させて抗腫瘍効果を発揮することがわかってきました。本薬剤を患者様のもとへ届けるためには、さらに効果を高め、副作用を抑えた安全な薬剤に改良する必要があります。RFL研究助成は本薬剤を臨床開発に進めるための土台作りの研究に使用します。

### 3. 2の将来に繋がる結果予想・目標

遠隔転移のある進行症例や術後再発・転移症例に対する新規骨肉腫治療薬の開発を目指します。骨肉腫患者の多くをしめる未来ある若年者に対して、新たな治療の選択肢を提供することが目標です。

### 4. 全国のRFL関係者に一言メッセージ

RFL研究助成に採択頂き誠にありがとうございます。助成金に込められた患者様とご家族の皆様の願い大切に、がん治療の改善及び発展に少しでも貢献したいと考えております。